

《日本語常識チェック!》「小春日和」

「小春日和(こはるびより)」は、晩秋から初冬にかけての暖かく穏やかな晴天を意味しています。

「春」の漢字を使っていますが、春を指すものではありませんので、ご注意ください!

まちのできごと

技術向上を目指して

スキー教室

1月23日、24日、30日、31日の4日間、町営板清水スキー場において、スキー教室が開催されました。

これは、スキー技術を修得し、楽しく滑ってもらおうと町教育委員会が毎年開催しているもので、今年は4日間で町内外から延べ150人が参加しました。参加者は、レベルに応じてグループ分けされ、全日本スキー連盟公認の藤里スキークラブ会員の指導のもと、スキーを楽しんでいました。



丁寧に教えてくれます

肥料袋を使って

けつじより世界選手権

1月31日、町営スキー場において、町ツリーズム協議会主催、秋田白神コミュニティセンター共催の「肥料袋けつじより世界選手権」が行われ、町内外の小学生から一般まで多くの人が参加しました。



じっくり審査が行われました

秀逸な作品が揃った

藤里観光写真コンクール

2月3日、総合開発センターにおいて、「第8回いきいき藤里観光写真コンクール審査会」が行われました。



大ジャンプ!

イベントは、ジャンプとタイムレースの2種目が行われ、ジャンプは肥料袋をソリにしてジャンプ競技の飛形点と距離点の合計を競い、ソリ競争はコースを滑るタイムを競いました。ジャンプでは、ダイナミックなジャンプが披露されるなど、観客からたくさんの歓声が上がりました。



大きな「ほら」に会場は大爆笑

希望溢れるほらを披露

白神山地ほら吹き大会

2月7日、ホテルゆとりあ藤里において、湯の沢温泉郷協議会主催の第1回白神山地ほら吹き大会が開催されました。

この日は、町内外から10人がエントリーし、「藤里町にケーブルカーとデイズニールランド、地ビール工場を造る」「藤里町に1万人の居住が確認された」などの「ほら」を披露。集まった約400人の観客は爆笑の渦に包まれました。

記念すべき第1回の大賞(名人)には、北秋田市の藤嶋絹蔵さんが選ばれました。

このコンクールは、昨年5月から12月の8ヶ月に渡って作品を募集し、全国63人から199点の応募がありました。審査は、日本写真家協会常務理事の島田聡氏を委員長とした5名で行われ、多くの作品の中から、藤里町のPRにふさわしい23点の入賞作品が選ばれました。最優秀賞には、昨年続き、八峰町の米森由丸さんの作品「月明りの棚田」が選ばれました。